



発行／生活協同組合おおさかパルコープ
大阪府東淀川区東野田町1-5-26
TEL: 06(6242)0904
FAX: 06(6242)0926
発行責任者／山本邦雄 編集／理事会室

当面の間、通常の「ぱるタイム」作成を休止し、震災臨時号を発行いたします

<http://www.palcoop.or.jp>



工場が津波で被災しましたが、製造再開をすすめています

～岩手県・(株)アマタケ～

今回の東日本大震災で工場設備や従業員の方が被災されたり、いまだ電気や水道が復旧せずに商品製造ができなくなったお取引先があります。

そのうちの1社、「パルコープ岩手鴨鍋セット」でおなじみの(株)アマタケ西日本広域営業部の村田さんより、状況をお聞きしました(5月7日現在)。「パルコープ岩手鴨鍋セット」

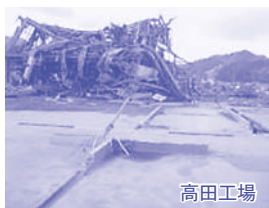


岩手県内に4工場と、南部どりなどの鶏・あい鴨の飼育農場があります。海岸に近い2工場が津波により大きな被害が出ました。

大船渡工場および併設の本社棟は2階までが浸水したため、しばらく稼働できない状況となりました。高田工場については完全に流失して基礎部分のみになってしまい、併設の事務所棟も骨組みだけになっています。その他、津波被害がなかった滝の里工場は5月初旬の現在でも水道が復旧していないこととあわせ、地域の避難所として使用されているため稼働できない状況です。

また、鶏舎は内陸部にあるため施設被害はなかったのですが、震災の影響で飼料が不足しました。鶏はやむなく「種どり」だけを残し約100万羽を処分しました。田野畑村で飼育しているあい鴨は、なんとか通常通りの飼育を続けています。

現在は、大船渡工場および併設の岩手本社は復旧してきており、工場内の清掃や機械の洗浄、出荷できなくなってしまった商品在庫の廃棄作業などを行なっているところです。鶏の生産にあわせ7月末以降をめどに商品を絞って、加工品や「パルコープ岩手鴨鍋セット」の製造再開を予定しています。なんとか通常通りの鍋シーズンスタートに間に合わせて、組合員さんにお届けしたいと思っています。



写真上：大船渡市・本社の建物屋上から見た津波時のようす
写真右：陸前高田市・高田工場（手前が残った基礎部分。奥が骨組みだけになった事務所）



被災地生協の共済訪問に パルコープからも支援に行っています

いわて生協へ支援（5／9～5／14）支所共済担当職員5名

全国から生協職員が日本生協連の呼びかけに応じて被災にあった東北地方を中心に組合員さんへの訪問活動をしています。今回お支払いしているお見舞金などは、CO・OP共済にご加入の皆さまからお預かりしている掛金から支払われています。本当に困ったときに助け合える。それが生協、CO・OP共済の「助け合い」です。

5月17日現在の被災地での訪問件数：27,486件

家も家族も無事で「そうなんや、よかったな」と思った次の瞬間、「父が亡くなりました」という言葉。仕事で大槌町に行っていた時に津波に襲われたそうです。比較的被害が少ないと思われる地域でも、このように身内の方を亡くされており、町や家の雰囲気だけでは地震・津波の被害を知ることにはできないと思いました。お見舞金のお話をすると大変喜ばれました。（寝屋川支所・網崎和正）

初めは不安が大きかったのですが、一軒目に高齢の組合員さんの話を聞き対応させていただいたら次々と話が進み一軒でも多くの組合員さんの声を聞くことに大きな意味があると感じ、必死で動きました。生協の活動の素晴らしさを改めて感じ、助け合いの心を肌で感じる事ができました。（港支所・矢口隆広）

ご年配の組合員さんを訪問した時に、「私の家は大丈夫だったが娘の職場が流されて職がなくなり無収入になった。震災が発生して数日間は一食が続き配給がまわって来なかった」と聞きました。被災地では、働かなくても働けない人が沢山いらっしゃる現実も目の当たりにしました…。（南寝屋川支所・樋口隆之）



【重要】「東日本大震災」による 今後の商品供給の見通し

5月23日現在、6月1回以降のお届けできない商品は予定されていませんが、引き続き、工場・物流センターの被災による原料や資材の不足など、申し訳ございませんが、お届けできなくなる場合があります。ご理解のほどお願いいたします。

来週(6月1回)、さ来週(6月2回)にお届けできない商品

※請求明細に記載されません

※今のところありません。

今週お届けできない商品につきましては、請求明細または個人別のお知らせをご覧ください。

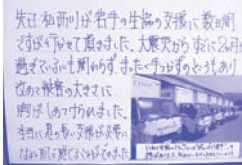
商品および、配送のお問い合わせは
組合員サービスセンター ☎ 0120-409-555
携帯電話からは 0570-085-555(有料)
(月～金 午前9:00～午後10:00/土 午前9:00～午後5:00)

いわて生協の釜石支部・けせん支部で 配送同行しました(パルコープ店長など9名)

5月15日～17日

圧倒的な瓦礫の山々、廃墟と化した街を見て、生協に、また1人にできることなんて…と感じたのも事実です。でも、パルコープの方針「息の長い支援」が本当に必要なことも痛感できました。

(東中浜店店長・上野賢治) (枚方公園店店長・西川弘一)



店頭いわて生協の報告を貼りました

パルコープでは協同組合の原点に立って、被災地を見守り、息の長い支援活動をすすめています。